

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成29年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	開戸センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	244	137	56.1%	
	延べ利用者数 (人)	4,000	1,512	37.8%	
	自主事業	実施回数 (回)	10	229	2290.0%
		利用者数 (人)	112	1,517	1354.5%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	13,397,347	6,698,674	50.0%
		利用料金収入 (円)	3,400,000	1,296,900	38.1%
		自主事業収入 (円)	696,000	865,800	124.4%
	収入計 (円)		17,493,347	8,861,374	50.7%
	支出	人件費 (円)	10,274,000	5,875,233	57.2%
		維持管理経費 (円)	6,266,000	2,302,935	36.6%
		自主事業関係経費 (円)	2,661,093	466,545	17.5%
		その他の支出 (円)	0	0	0.0%
	支出計 (円)		19,221,093	8,644,713	45.0%
	収支 (収入－支出) (円)		△1,727,746	216,661	—

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 開館日、利用者数ともに計画どおり、ほぼ昨年と同じに運営をしています。通所事業の新規利用者の確保についても、自主事業からの新規利用に繋がる工夫も視野に入れ、センターの周知を引き続き行っていきます。</p>	<p>【事業の実施状況について】 通所事業においては、要介護状態でない方のためのセンターとして周知されてきており、元気な利用者が増加しています。自主事業については、当初の計画時に比べ、事業の提供体制が整ったことやノウハウが蓄積できたことにより、ニーズにあった講座を多く実施でき、参加人数及び実施回数は計画より増加しています。引き続き講座の内容や利用者のニーズに合った取り組みに力を入れていきます。</p>	<p>【収支状況について】 通所事業についての収支は良好です。自主事業についても昨年度より収入が増加しており、収支状況は上向きにあります。センターの周知にさらに力を入れ、収支のバランスを考えて講座数を増やしていきます。</p>
---	---	--

所管課の評価 (指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 周知活動の成果により安定して利用者数が確保できているが、依然として計画を下回っているため、引き続き新規利用者の確保のための啓発・広報活動を行う必要がある。</p>	<p>【事業の実施状況について】 利用者のニーズに応じており、特に自主事業の利用者数は前年度同時期より増加し、良好である。</p>	<p>【収支状況について】 通所事業の収支は、概ね計画通り推移しており、良好である。自主事業についても収支は上向きで評価できる。</p>
---	--	---

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人 人員配置計画、実地、出勤簿	5人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年 研修マニュアル	実施回数6回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
通所事業においては、サロンを目指し、自由に活動に取り組み、選択し、有意義な一日を過ごして頂いており、利用人数も安定しています。利用者の声を大切にしていくために「意見箱」の設置やアンケート調査等も取り入れて満足度の向上を目指しています。 自主事業についても、アンケート調査を取り入れながら利用者の声を大切に、講座数の増加と質の向上を図っています。市民の皆様に喜んで頂けるセンターを目指していきたいと考えます。
市による所見（指摘事項など）
利用者の声を大切にして利用者との信頼関係も着実に積み上げており、職員の努力は評価できる。計画どおり開館し、収支についてもバランスを考慮して取り組んでおり、引き続き地域の元気な高齢者の拠点として機能していくよう努めてほしい。 また、引き続き、収支バランスの適正に努めて事業を運営するようお願いする。